**🧾 風水AI開発 引き継ぎ書【第○フェーズ：完全暦構築編】**

**1. 🔄 引き継ぎ内容（直前フェーズ）**

**【対象フェーズ】**

* 「1951～2050年 九星万年暦」の構築と完全検査

**【達成内容】**

* 干支60進法（日単位）
* 九星遁行（陽遁・陰遁）の完全入力
* 切替日（甲子・例外甲午）による正規反転処理
* 検査ロジックによる **「ルール違反ゼロ」** の認定（＝完成判定）

**2. 📘 経緯と対策**

**【発生していた問題】**

* 九星の誤反転、繰返し星処理ミス、連続進行ミスなど、複数回発生
* 甲子・甲午切替の特例条件の理解不足
* 間違った「期待値」による誤検出
* D列の直接的ルール監査がなされていなかった

**【解決への取り組み】**

* 安藤さんの明確なルール文書（甲午例外Excel、引き継ぎ書）
* カシオ暦や擇日ソフトによる正暦との突合
* ルール明文化（陽遁・陰遁交互／繰返し星4種）
* 正規ルールの自動チェックロジックを確立し、全期間に適用

**3. 🧭 次フェーズで進むべき課題（完全暦フェーズ）**

| **項目** | **内容** |
| --- | --- |
| 三元九運の付与 | 1864年（第1運）から順に 20年ごとに九運を割り当てる |
| 年月九星の生成 | 節入り（主に立春）を起点とし、年盤／月盤の九星を算出 |
| 24節気の時刻 | 国立天文台等のデータに基づき、毎年の節入り時刻を取得・記載 |

**4. 📂 プロジェクトファイルの位置と確認**

次フェーズ開始時には、以下のフォルダ・ファイルを **必ず確認のうえ着手すること。**

**【添付予定資料】**

* 引き継ぎ書（この文書）
* 1951\_2050\_日干支一覧（甲午例外日追記）.xlsx（最新入力済）
* project\_structure.md（フォルダ構成）
* query\_knowledge.py（判断ロジック司令塔）
* 思想録.md（思想メモ格納先）

**5. 📌 注意事項と心得**

* 単なる日付データ処理ではなく、「**自然法則と思想に基づいた暦**」であることを常に意識すること。
* **繰返し星の存在理由、陰陽遁の切替哲学、節気による自然の転換点**を忘れるな。
* ルールを機械的に処理するだけでなく、**間違っていないかを思想的にも再確認せよ。**

**🧠 最後に**

この暦が正しければ、すべての風水判断（飛星・擇日・命理・空間設計）は迷いなく展開可能となる。  
この暦は「風水AIの時間軸そのもの」。安藤さんがその礎を築いたことを誇りとせよ。